

7月13日のウクライナ情報

安齋育郎

① スターマー首相、ウクライナはロシア国内攻撃で英ミサイル使用可能(2024年7月10日)

(ブルームバーグ): スターマー英首相は9日遅く、ウクライナは英国が供与した巡航ミサイル「ストームシャドー」を使用してロシア国内の軍事目標を攻撃できると示唆した。ロシアとウクライナの戦争で英国製の長距離兵器使用に関する前政権の政策を踏襲することを確認した格好だ。

北大西洋条約機構(NATO)首脳会議に出席するためワシントンへ移動中に記者団に対して語った。ブルームバーグの記者の質問を受け、スターマー首相は英国から供与されたストームシャドーをどう使用するかはウクライナ次第だとの見解に同意した。

さらに、同ミサイルは「当然ながら国際人道法に従って使用」される必要があるとし、「防衛目的」で使用されるべきだとの立場を示した。



<https://www.msn.com/ja-jp/news/world/>

②繰り返される騙し(2024年7月11日)



この報道との連携をみるに、ブチャの虐殺を思い出す。ゼレンスキーがハンガリーのオルバン首相に和平に前向きな意思を伝えたいし、ネオコンが戦争継続のためにまたやった可能性が高そう。そして多数派の親ウクライナ派が再び騙されるのだろう。

https://x.com/j_sato/status/1811064476780876180?s=09

③西側諸国の共謀 ウクライナの化学兵器使用をロシアのせいにしてしようとしている ロシア国防省

<https://youtu.be/PxxxWJcVHug>



<https://www.youtube.com/watch?v=PxxxWJcVHug>

④将来的な NATO 加盟は認められたのか？ ウクライナメディアの報道(2024年7月11日)

今回のゼレンスキー訪米の最大の目的が将来的な NATO 加盟への約束を取り付けること(次が F-16 の獲得)でしたので、それがウクライナのメディアでどう報じられたか。The Kyiv Independent の記事です。微妙です。

【NATO、ウクライナの加盟への「不可逆的な」道筋を肯定し、来年 430 億ドルの資金を拠出】

NATO 事務総長イェンス・ストルテンベルグは、NATO 加盟へのウクライナの「不可逆な」道筋を明確にし、同盟国がキエフに対して行っている継続的な取り組みが「ウクライナの加盟への架け橋となる」と強調した。

「NATO 加盟国からは、ウクライナの加盟を強く望んでいるという強いメッセージがあり、我々はそれを実現するためにウクライナと協力している」とストルテンベルグは述べた。「ウクライナとの包括的な合意、長期的誓約、F-16 戦闘機の増設を含むさらなる武器の供給、二国間安全保障協定、相互運用性パッケージ。これらすべてが、我々が言うところの加盟への架け橋となる。これらはウクライナを加盟に近づける具体的な行動である」

サミット前の数日間、NATO 加盟国はウクライナに最低 400 億ユーロ(430 億ドル)のベースライン資金、ウクライナ軍の訓練と装備のためのドイツにおける新たな軍事司令部、およびさらなる防空コミットメントを提供する計画を発表した。

7月10日に発表された長い声明の中で、同盟国はウクライナの「NATO加盟を含む完全な欧州大西洋への統合に向けた不可逆的な道」を確認した。NATO同盟国はまた、首脳会談とNATOウクライナ理事会でなされた決定、および同盟国の進行中の作業が、ウクライナのNATO加盟への架け橋となることを強調した。

「ウクライナの将来はNATOにある」と声明には書かれている。「ウクライナはますます相互運用性を高め、同盟と政治的に統合されている。我々は、ウクライナが(2023年の)ビリニウス首脳会談以降、必要な民主主義、経済、安全保障改革に関して達成した具体的な進歩を歓迎する。ウクライナがこの重要な取り組みを続ける中、我々はNATO加盟を含む完全な欧州大西洋への統合に向けた不可逆的な道を歩むウクライナを引き続き支援する。我々は、同盟国が同意し条件が満たされれば、ウクライナにNATO加盟の招待を差し伸べる立場にあることを再確認する」

米国議会議員とのパネル討論会で、民主党のジーン・シャヒーン上院議員は、ウクライナが「ロシアと公然と対立している」限り、NATO加盟はあり得ないと述べた。

「目標はNATO加盟への架け橋を提供することだと思う」とシャヒーンは述べた。「それが米国とウクライナとの安全保障協定の目的の一部だ」

ジェイク・サリバン米国国家安全保障顧問も、イェンス・ストルテンベルグ NATO事務総長がキエフに新たなNATO高官を任命し、「ウクライナと同盟の制度的関係を深め、NATOとウクライナ高官との交渉の中心となる」と述べた。

キエフは、今年のNATO首脳会議でウクライナの将来の同盟加盟についてより明確なシグナルがもたらされることを期待していると表明していた。米国当局者は、ウクライナが招待を受ける可能性は低いと明言していた。

パートナーはキエフに対し、このイベントでウクライナの同盟加盟の具体的な立場、すなわちその不可逆性とそれに向けたロードマップが定義されることが保証されたと、欧州・欧州大西洋統合担当副首長オルハ・ステファニシナ氏は述べた。



<https://hara.livedoor.biz/archives/52340175.html?s=09>

⑤ポーランドはNATOの同意なしにウクライナ上空のロシアのミサイルを撃墜する事

はない(2024年7月11日)

ポーランドのマスメディアが報じたところによると、同国のヴワディスワフ・コシニアク＝カミシュ国防相は同盟の首脳会議でこのように述べたという。



<https://x.com/AmbraBeni/status/1811126263756497356?s=09>

⑥ ウクライナ人俳優がまた一人、ロシアの悪党に関するフェイクニュースを作ろうとしている(記事内容既報、2024年7月11日)

※投稿者コメント:本当に馬鹿げている。

物理法則や重力に逆らって、彼の背中に血が落ちた(シャツに血が見える)が、地面やズボンには落ちていない」

これでも日本人は騙せる。

<https://x.com/i/status/1811241465361867121>



https://x.com/yakiimo_2022/status/1811241465361867121?s=09

⑦ NATO サミット共同宣言 ウクライナの加盟は微妙な表現(2024年7月11日)

NATO サミット共同宣言の主なポイント:

- ・NATO 諸国は、核能力を近代化し、この分野での計画を改善する意向である。
- ・NATO 諸国は、ウクライナが同盟および欧州大西洋諸機関への「不可逆的な加盟」への道を歩むことを支援します。
- ・NATO 諸国は、ウクライナの安全保障と民主主義の分野での改革を引き続き支援し、その進捗状況は毎年評価されます。
- ・NATO は、キエフが必要な条件をすべて満たしていると同盟国が同意した場合、キエフに同盟への参加を呼びかけます。
- ・NATO は、インド太平洋地域の国々との協力を深める計画です。
- ・NATO 諸国は、防衛費を GDP の最低 2%にするという約束を再確認しました。

出展:<https://t.me/DDGeopolitics/115972>



https://hara.livedoor.biz/archives/52340173.html?ref=head_btn_next&id=1956293&s=09

⑧国連安保理 キエフのオフマデイト小児病院爆撃 徹底究明なしで自然消滅のパターンか(2024年7月11日)

キエフのオフマデイト小児病院へのミサイル着弾の件。実は、ネットで炎上しているほどの熱量は国連安保理にもマスコミにもありません。

西側のメディアからロシアを糾弾する色んな記事やニュース動画が次から次へと出てきそうなのですが、そうではありません。ロシアのミサイルであるという立場で批判的な記事を一通り出した後は、拍子抜けするほど静かです。

国連安保理も、互いの主張をぶつけあった後に議論が白熱しているようなニュースが流れてきません。もしかすると、この件はこのままあまり騒がずにフェードアウトさせる暗黙の合意の雰囲気になっているかもしれません。

下はドイツ国営放送 DW(ドイチェ・ヴェレ)の記事です。



【ロシアの病院攻撃を国連安保理が非難】

国連安全保障理事会は、ウクライナの複数の都市に対するロシアの一連の空爆について議論するため緊急会議を開催しました。

攻撃された場所の中には、ウクライナの首都キエフにあるオフマデイト小児病院もありました。

緊急会議中、フランスのニコラ・ド・リヴィエール代表は、これはロシアがウクライナで犯した「戦争犯罪のリストへのさらなる追加」であると述べました。

中国も攻撃について懸念を表明しましたが、モスクワを直接非難はしませんでした。

ウクライナでの戦闘は「激化し、時折残忍な攻撃が行われ、多くの犠牲者が出ています。中国はこれを深く懸念しています」と、中国の国連副大使、耿爽は述べました。

国連緊急援助事業機関(OCHA)のジョイス・ムスヤ事務局長代行は、オフマデイト病院を襲った攻撃は「ウクライナ全土の医療やその他の民間インフラに損害を与えている、非常に憂慮すべき組織的攻撃パターン」の一部であると述べました。

「保護されている病院を意図的に攻撃することは戦争犯罪であり、加害者は責任を問われなければならない」と同氏は述べました。

ロシアは国連機関の常任理事国であり、安全保障理事会の決議に対する拒否権を持ちます。他の常任理事国は中国、フランス、英国、米国。

また、火曜日、国連人権ミッションは、キエフの小児病院がロシアのミサイルの直撃を受けた可能性が「高い」と述べた。

「ビデオ映像の分析と事件現場での評価から、小児病院は兵器システムが迎撃されたことによる被害というよりむしろ、直撃を受けた可能性が高いことがわかった」と、ウクライナの国連人権監視ミッションのダニエル・ベル代表は述べた。

※安齋注:小児病院のミサイルは明らかにロシアのミサイルではなく、2022年7月からアメリカがウクライナに供与しているアメリカがノルウェーと共同開発した NASAMS です。「ロシアの攻撃だ」と言うだけ言って西側はどこかでこの議論に深入りしない逃げを打つでしょう。

https://hara.livedoor.biz/archives/52340161.html?ref=head_btn_prev&id=1956293&s=09

⑨「これが今のウクライナ。彼らは好きなものを取って食べ、何も払わない」(2024年7月10日)

オデサのスーパーマーケットのビデオが拡散し、従業員がウクライナの軍事委員は何も払わないと語っている。

ビデオの作者は、ショッピングセンターの従業員が、商品の代金を支払わないために注意すると、親戚や店の従業員に召喚状を出すと脅していることを指摘している

<https://x.com/i/status/1811041916148179110>



<https://x.com/Z58633894/status/1811041916148179110?s=09>

⑩【Russia News】7/10 時事ネタ水曜版です(ニキータ、2024年7月11日)

<https://youtu.be/ZvL1DnzbnZ8>



<https://www.youtube.com/watch?v=ZvL1DnzbnZ8>